エコアクション21
環境経営レポート

活動期間　　令和3年7月1日～令和4年6月30日

発行日　令和4年12月26日

美土利建設工業株式会社

目次（contents）

エコアクション２１　環境経営レポート

◆ 1　取組の対象組織

◆ 2　認証・登録の対象組織・活動

◆ 3　環境経営方針

◆ 4　環境経営目標

4-2　環境経営目標の実績・取組結果・評価・次年度の目標

◆ 5　環境経営計画

5-2　環境経営計画に基づき実施した
取組内容・実績・評価・次年度の目標

◆ 6　環境関連法規制等の順守状況の確認
及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

◆ 7　代表者による全体の評価と見直し

◆ 8　SDGsとの関連及び取組状況の確認

1. 取組の対象組織

（1）名称及び代表者名

美土利建設工業株式会社　　代表取締役　宮本　雅史

（2）所在地

本　　社	徳島県徳島市下助任町１－４
資材倉庫（賃貸）	徳島県板野郡北島町北村字大黒９６－２
資材置場	徳島県板野郡北島町北村字鍋井６９－１，６９－２，６９－３

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者及び担当者　　田中　敦子

TEL：０８８－６２２－２５０７　　FAX：０８８－６２２－２５５８

E-mail：midorikk@shirt.ocn.ne.jp　　URL：http://midori-kk.co.jp

（4）事業内容

総合建設業（特定建設業）	徳島県知事許可（特-04）第602号
土木工事業	
建築工事業	
大工工事業	
とび・土工工事業	
石工事業	
屋根工事業	
タイル・れんが・ブロック工事業	
鋼構造物工事業	
ほ装工事業	
内装仕上工事業	
水道施設工事業	
解体工事業	
一級建築士事務所	徳島県知事登録　第21024号
宅地建物取引業	徳島県知事（11）第1653号

（5）事業の規模

完成工事高	127,442	万円／年（2022 年度）
工事件数	129	件
従業員	14	名
本社延べ面積	326.1	㎡
資材倉庫（賃貸）延べ面積	188.0	㎡
資材置場延べ面積	800.1	㎡

（6）事業年度　　（自）7月1日　（至）6月30日

2. 認証・登録の対象組織・活動

上記記載内容と同じ（全組織）を対象とする

3. 環 境 経 営 方 針

基本理念

美土利建設工業(株)の事業活動（総合建設業）を通して、地域・地球環境保全が人類共通の重要な課題の一つであることを充分認識し、自然を採り入れた快適空間の提供、或いは自然と共存・共生しながら廃棄物“ゼロ”を目指す循環型社会システムを構築し、社会貢献に努めます。

方　針

(1) 当社の事業活動 総合建設業に関わる環境影響を常に認識・理解し、長期的ビジョンに立って従業員一丸となり各部署との連携を密にし、全体プロセスの最適化を図り環境への取組と継続的な環境負荷の低減を目指し、又、環境経営の継続的改善を誓約し、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

① 二酸化炭素排出量の削減（総エネルギー使用量の削減）

② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

③ 水使用量の削減

④ 環境配慮型施工の推進

⑤ 地域清掃活動等の社会貢献活動

(2) 事業活動に関わる環境関連法規、条例、その他の要求事項を遵守します。

上記の方針達成のために目標を設定し、環境活動計画に従って実施します。
また定期的に見直し、環境経営システムを推進し、全従業員に周知します。

制定日　平成23年11月25日
改訂日　平成30年7月6日

美土利建設工業株式会社
代表取締役　宮本 雅史

4. 環境目標・中長期目標

(1) 2018年度実績を基準として二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量
及び水使用量は　3　%削減する。

(2) 社会貢献活動は1年間で年12回

(3) 環境配慮は計画工程／ 実施工程で計算し、計画工程内に完成すると100%とする。

全体

項　目		2018 年度 2018 年 7 月 1 日～ 2019 年 6 月 30 日 実績(基準値)	2019 年度 目標基準比 1 %削減	2020 年度 目標基準比 2 %削減	2021 年度 目標基準比 3 %削減	2022 年度 目標基準比 4 %削減
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		80,268	79,465	78,663	77,860	77,057
〃　売上原単位　(kg-CO2／売上高[億])		6,434	6,370	6,306	6,241	6,177
完成工事高(万円)		124,750				
電力使用量　(kWh／年)		28,254.00	27,971.46	27,688.92	27,406.38	27,123.84
燃料使用量	ガソリン　(L／年)	18,710.00	18,522.90	18,335.80	18,148.70	17,961.60
	軽油　(L／年)	8,557.00	8,471.43	8,385.86	8,300.29	8,214.72
一般廃棄物 (ｺﾋﾟｰ用紙) (t／年)		0.38	0.38	0.37	0.37	0.36
水使用量　(m3／年)		1,317.00	1,303.83	1,290.66	1,277.49	1,264.32
社会貢献活動(清掃活動)(5 人/月)		年 11 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回
産業廃棄物再現化率(%)		93.30	94.23	95.17	96.10	97.03
環境配慮 (%)　計画工程／ 実施工程		100	100	100	100	100

事務所

項　目		2018 年度 2018 年 7 月 1 日～ 2019 年 6 月 30 日 実績(基準値)	2019 年度 目標基準比 1 %削減	2020 年度 目標基準比 2 %削減	2021 年度 目標基準比 3 %削減	2022 年度 目標基準比 4 %削減
二酸化炭素排出量・事務所　(kg-CO2)		66,863	66,194	65,526	64,857	64,188
〃　売上原単位　(kg-CO2／売上高[億])		5,360	5,306	5,253	5,199	5,145
電力使用量　(kWh／年)		15,727.00	15,569.73	15,412.46	15,255.19	15,097.92
燃料使用量	ガソリン　(L／年)	18,701.00	18,513.99	18,326.98	18,139.97	17,952.96
	軽油　(L／年)	5,902.00	5,842.98	5,783.96	5,724.94	5,665.92
一般廃棄物 (ｺﾋﾟｰ用紙) (t／年)		0.38	0.38	0.37	0.37	0.36
水使用量　(m3／年)		1,317.00	1,303.83	1,290.66	1,277.49	1,264.32
社会貢献活動(清掃活動)(5 人/月)		年 12 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回

現場

項　目		2018 年度 2018 年 7 月 1 日～ 2019 年 6 月 30 日 実績(基準値)	2019 年度 目標基準比 1 %削減	2020 年度 目標基準比 2 %削減	2021 年度 目標基準比 3 %削減	2022 年度 目標基準比 4 %削減
二酸化炭素排出量・現場　(kg-CO2)		13,405	13,271	13,137	13,003	12,869
〃　売上原単位　(kg-CO2／売上高[億])		1,075	1,064	1,053	1,042	1,032
電力使用量　(kWh／年)		12,527.00	12,401.73	12,276.46	12,151.19	12,025.92
燃料使用量	ガソリン　(L／年)	9.00	8.91	8.82	8.73	8.64
	軽油　(L／年)	2,655.00	2,628.45	2,601.90	2,575.35	2,548.80
産業廃棄物再現化率(%)		93.30	94.23	95.17	96.10	97.03
環境配慮 (%)　計画工程／ 実施工程		100	100	100	100	100

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2018年は　0.518(kg-CO2)　とする。

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2019年は　0.535(kg-CO3)　とする。

※ENEOSでんきの電気事業者別二酸化炭素排出係数を2020年は　0.494(kg-CO3)　とする。

※ENEOSでんきの電気事業者別二酸化炭素排出係数を2021年は　0.472(kg-CO3)　とする。

※ENEOSでんきの電気事業者別二酸化炭素排出係数を2022年は　0.477(kg-CO3)　とする。

4―2. 環境経営目標の実績・取組結果・評価・次年度の目標

（1）2021年度の目標値は2018年7月1日～2019年6月30日の数値の3%削減の数値とした。

（期間　2021年7月1日～2022年6月30日）

全体

項　　目		目標値（1年間）	取組み期間実績（2021.7.1～2022.6.30）	達成率（%）	評価
二酸化炭素排出量　(kg-CO2)		78,663	67,068	100 %	
〃　売上原単位（kg-CO2／売上高[億]）		6,306	5,766	100 %	◎
完成工事高（万円）					
電力使用量　（kWh／年）		27,688.92	35,647.00	77 %	△
燃料使用量	ガソリン　（L／年）	18,335.80	16,202.13	100 %	◎
	軽油　（L／年）	8,385.86	5,352.90	100 %	◎
一般廃棄物（ｺﾋﾟｰ用紙）（t／年）		0.37	0.36	100 %	◎
水使用量　（m3／年）		1,290.66	1,122.00	100 %	◎
社会貢献活動（清掃活動)(5 人/月）		年 12 回	7	58 %	△
産業廃棄物再現化率（%）		95.17	98.20	100 %	◎
環境配慮（%）　計画工程／ 実施工程		100	100	100 %	◎

事務所

項　　目		目標値（1年間）	取組み期間実績（2021.7.1～2022.6.30）	達成率（%）	評価
二酸化炭素排出量・事務所　(kg-CO2)		64,857	58,516	100 %	
〃　売上原単位（kg-CO2／売上高[億]）		5,199	3,496	100 %	◎
電力使用量　（kWh／年）		15,255.19	15,742.00	97 %	○
燃料使用量	ガソリン　（L／年）	18,139.97	16,162.62	100 %	◎
	軽油　（L／年）	5,724.94	5,221.67	100 %	◎
一般廃棄物（ｺﾋﾟｰ用紙）（t／年）		0.37	0.36	100 %	◎
水使用量　（m3／年）		1,277.49	1,122.00	100 %	◎
社会貢献活動（清掃活動)(5 人/月）		年 12 回	7	58 %	△

現場

項　　目		目標値（1年間）	取組み期間実績（2021.7.1～2022.6.30）	達成率（%）	評価
二酸化炭素排出量・現場　(kg-CO2)		13,003	8,551	100 %	
〃　売上原単位(kg-CO2／売上高[億])		1,042	511	100 %	◎
電力使用量　（kWh／年）		12,151.19	19,905.00	61 %	△
燃料使用量	ガソリン　（L／年）	8.73	39.51	100 %	◎
	軽油　（L／年）	2,575.35	131.23	100 %	◎
産業廃棄物再現化率（%）		96.10	98.20	100 %	◎
環境配慮（%）　計画工程／ 実施工程		100	100	100 %	◎

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2018年は　0.518（kg-CO2）　とする。

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2019年は　0.535（kg-CO3）　とする。

※ENEOSでんきの電気事業者別二酸化炭素排出係数を2020年は　0.494（kg-CO3）　とする。

※ENEOSでんきの電気事業者別二酸化炭素排出係数を2021年は　0.472（kg-CO3）　とする。

＊　評価　◎：100%以上、○：80%以上、△5：50%以上、×：50%未満

5. 環境経営計画

作成日　2022年7月25日
改定日　2021年7月26日

環境方針	目　標	取組手段	対象（全体・本社は事務局長、営業所は部門長名）	日　程	責任者・担当者
CO2排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量削減 基準年度18年度の 4 %削減 22 年度目標値 27,124（kWh）	1. 夏季エアコン28℃ 2. 冬季エアコン20℃ 3. 年一回エアコン清掃 4. 照明の適正化、スイッチの適正管理の徹底 5. 人がいない場所の照明OFF 6. 影響の少ない照明の常時消灯	○で囲む： 事務所 （ ○ ） 現場 （ ○ ）	通年	事務所：環境事務局 現場：現場管理者
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減 基準年度18年度の 4 %削減 22 年度目標値 17,962（L）	1. エコドライブの励行（10カ条） 2. 適正な車両整備（空気圧等） 3. 適切なルート選定 4. 自転車の利用	事務所 （ ○ ） 現場 （ ○ ）	通年	事務所：環境事務局 現場：現場管理者
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物（コピー用紙）の削減 基準年度18年度の 4 %削減 22 年度目標値 0.36 （t）	1. 両面・縮小印刷 2. 裏紙活用 3. PDF・メールの活用	事務所 （ ○ ） 現場 （ ー ）	通年	事務所：環境事務局
	産業廃棄物排出量 基準年度18年度の 4 %削減 22 年度目標値 1,633 t	1. 支障なき箇所に再利用を行う 2. 有価物の選別	事務所 （ ー ） 現場 （ ○ ）	発生毎	現場：現場管理者
水使用量の削減	基準年度18年度の 4 %削減 22 年度目標値 1,264（m3）	1. 節水バルブを80%に調整する 2. 節水呼びかけ 3. ホースの手元散水ノズル活用	事務所 （ ○ ） 現場 （ ー ）	通年	事務所：環境事務局
環境配慮	計画工期達成 100 （%）	1. 工程管理の精度向上 2. 施工図の精度向上	事務所 （ ー ） 現場 （ ○ ）	工事毎	現場：現場管理者
会社周辺の清掃及び支援活動	年12回の活動 （5人／月） 12(回)	1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（みちピカ事業） 2. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（OURロードアドプト事業） 3. 年一回小松海岸清掃 4. 年一回四国遍路道清掃	事務所 （ ○ ） 現場 （ ー ）	毎月1回 第4土曜日	事務所：環境事務局

５－２. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・実績・評価・次年度の目標

2021年（（2021年7月～2022年6月）1年間

	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	電力使用量　（基準年度より　3　%削減） ・夏季エアコン28℃ ・冬季エアコン20℃ ・年一回エアコン清掃 ・照明の適正化、スイッチの適正管理の徹底 ・人がいない場所の照明OFF ・影響の少ない照明の常時消灯	△	今期も契約金額の大きな新築の工事が4件あり 現場での電力使用量が多くなった。 事務所も97%と目標達成できなかった。 コロナ禍で換気をよくした点と、近年の異常気象 （2021年年末～2022年年始の寒波）でエアコン使用のため 電力使用量が増えたのが原因だと考えている。 目標達成に向け社員一同で取り組む。
	燃料使用量　（基準年度より　3　%削減） ・エコドライブの励行（10カ条） ・適正な車両整備（空気圧等） ・適切なルート選定 ・自転車の利用	◎	社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物（ｺﾋﾟｰ用紙）の削減（基準年度より　3　%削減） ・両面・縮小印刷 ・裏紙活用 ・PDF・メールの活用	◎	裏紙の活用、封筒の再利用等、引き続き活動が続いている。 次年度も目標達成に向け取組を継続してゆく。
	産業廃棄物再資源化率　（基準年度より　3　%削減） ・支障なき箇所に再利用を行う ・有価物の選別	◎	今期は大きな解体工事があったが、再資源化率は達成できた。 工事内容により産業廃棄物総排出量は大きく数値が変動するため 再資源化率の目標達成に取り組みを続ける。
水使用量の削減　（基準年度より　3　%削減） ・節水バルブを80%に調整する ・節水呼びかけ ・ホースの手元散水ノズル活用		◎	社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。 引き続き、節水も呼びかける。
環境配慮（計画工程/実施工程） ・工程管理の精度向上 ・施工図の精度向上		◎	目標達成のため、社員が意識向上に努め、 工程の管理がスムーズに行なわれた。 次年度以降も継続していく。
社会貢献活動 ・会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（みちピカ事業） ・会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（OURロードアドプト事業） ・年一回小松海岸清掃 ・年一回四国遍路道清掃		△	コロナ禍や天候不順により、目標達成できなかった。 次年度も無理のない活動を続けて行く。

＊　評価　◎：100%以上、○：80%以上、△5：50%以上、×：50%未満

6. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

※この１年間該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	順守状況の確認	判定
廃棄物処理法	委託契約の締結	確認	○
	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの交付	順守	
	廃棄物保管場所設置看板表示	順守	
労働安全衛生法	石綿等の除去作業（封じ込め、囲い込み作業含む）	順守	○
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検を実施、点検・整備の記録	順守	○
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成	順守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
再資源利用省令	再資源利用計画書・実施書の作成	順守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書作成 知事への届出書	順守	○
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い 容器包装廃棄物も適正に分別排出する	順守	○
建設廃棄物処理マニュアル	収集運搬業者、処分業者の許可証確認 中間処理場、最終処分場の確認	順守	○
石綿含有廃棄物等処理マニュアル	石綿含有廃棄物	該当なし	―
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型であることの確認	順守	○
浄化槽法	設置の届出、使用廃止後30日以内の届出	順守	○
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 あらかじめ所轄消防長又は消防署長に届出	順守	○
作業所で同意するその他の要求事項	仕様書・近隣協定・近隣からの要望で同意するもの 発注者からの要望	書類の確認・順守	○
建設業の環境自主行動計画第4版	環境リスクの低減・地球温暖化対策 建設副産物対策・有害物質・化学物質対策	順守	○
地方自治体の各条例	条例に従う	書類の確認・順守	○

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。
近隣住民から特に指摘は無く、また訴訟等も同様に1件もありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し

前期より取組始めたSDGsだが、コロナ禍で勉強会の開催ができなかった。時期を見て、勉強会を開催したい。

今まで、社会貢献活動の達成率はよかったが、今期は数値が低かった。コロナ禍の影響が大きいが、

感染者数が落ち着いてきたとはいえこれから先、ウィズコロナの社会でどのように目標達成してゆくかが

課題である。

SDGsとの関連及び取組状況の確認

承認者	作成者	更新者
2022/7/25	2022/7/25	2022/7/25

環境目標		実施事項	1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	2. 飢餓をゼロ 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4. 質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネ ルギーへのアクセスを確保する	8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する	11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする	12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	15. 陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する	17. パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	地球・世界に影響を与えている項目
CO2の排出量削減	電力の二酸化炭素排出量削減	空調の適温化（夏季：28℃、冬季：20℃） エアコンフィルター掃除 照明の適正化、スイッチの適正管理の徹底 人がいない場所の照明OFF 影響の少ない照明の常時消灯			3				7						13					3
	ガス 使用量削減	給湯器の適温化			3				7						13					3
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	エコドライブの励行（10カ条） 適正な車両整備（空気圧等） 適切なルート選定 自転車の利用			3				7											2
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	コピー用紙使用量削減 両面・縮小印刷 裏紙活用 PDF・メールの活用			3				7						13					3
	産業廃棄物の削減	分別の実施												12	13	14	15			4
水道 使用量削減		水道の元栓を絞る 節水呼びかけ ホースの手元散水ノズル活用			3			6						12	13	14	15			6
環境配慮型製品の購入		グリーン購入法適合製品の購入						6								14				2
地域貢献活動		清掃活動 みちピカ事業　OURロードアドプト事業 小松海岸清掃　四国遍路道清掃			3									12			15			3
エコアクション関連取組状況			0	0	6	0	0	2	4	0	0	0	0	3	5	3	3	0	0	

凡例　地球・世界への影響が大きい取組

美土利建設工業株式会社

CO2排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量削減	１．夏季エアコン28℃、冬季エアコン20℃	
		２．年一回エアコン清掃	
		３．照明の適正化、スイッチの適正管理の徹底	
		４．人がいない場所、影響の少ない照明OFF	
		５．使っていないｺﾝｾﾝﾄの対策	
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	１．エコドライブの励行（１０カ条）	
		２．適正な車両整備（空気圧等）	
		３．適切なルート選定	
		４．自転車の利用	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物（コピー用紙）の削減	１．両面・縮小印刷	
		２．裏紙活用	
		３．PDF・メールの活用	
水使用量の削減		１．節水バルブを80%に調整する	
		２．節水呼びかけ	
		３．ホースの手元散水ノズル活用	
会社周辺の清掃及び支援活動		１．会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（みちピカ事業）	
		２．会社周辺の1ヶ月に1回の清掃（OURロードアドプト事業）	
		３．年一回小松海岸清掃	
		４．年一回四国遍路道清掃	

美土利建設工業株式会社